

黒羽山 大雄寺 雄禅会かわら版

秋号



虫の音が夜の闇から聞こえ出す秋、大雄寺を飛び出している修行があります。それが、秋の研修旅行。

大雄寺にご縁のあるお寺さんを雄禅会が参拝します。水戸、新潟、高崎、それぞれのお寺さんにある坐禅単で坐禅を組ませていただきます。いつもの禅堂でなく、違う環境での坐禅は、初心に戻った気分になります。新たに気づくこともあります。貴重な時間になるのです。その後、御住職からお寺にまつわるお話しや禅についてのお話を伺います。また、新たに知ること、気づくことしかりで、感謝の気持ちで湧いてきます。「秋の研修旅行」、雄禅会の大切な行事です。尚、今年の研修は、大雄寺にて行われる十一月二十九日の摂心会になっております。どなたでもご参加頂きますので、この機会には是非お越し下さい。

目面 靖浩



終 田沢瀧 (ひいらぎかこみおもだか)

お寺・こらむ

当山の本堂箱棟や欄間など、境内のいたるところに刻まれている大雄寺の寺紋である。元は黒羽藩主大関氏の家紋として使用され、

後に大関家の菩提寺である大雄寺の紋としても使用される。柘は古来より「魔よけ」の意味として知られており、「角に柘」とか、節分行事でメザシの頭を柘の枝に刺して玄関に飾るなどの風習が残されている。大雄寺には柘の古木がある。これをよく見ると、新しい枝につく葉は、鋭く尖っている。中年の枝につく葉は、ところどころ円いのと尖ったものが混じりあっ



ている。そして、古い枝につく葉は、トゲが無く円い。柘の葉は、私たち人間の生き方のように若いうちは、鋭くトゲを出しても、年齢とともに円くなっていくのである。老いて柘の葉のようにに私たちの心も円く円く、円かに人生を歩んで参りたいものである。

☆この方にインタビュー

今回は、前回の桑名さんからご指名の玉木さんです。よろしくお願ひします。



Q1・坐禅会に参加されたきっかけは？
A1・次男が6歳の時、事故で死んで気持ちの整理をつけたくて参加しました。

Q2・お住まいはどちらですか？参加されて何年ですか？
A2・大田原に住んでいます。坐禅会では二十四年間お世話になってます。

Q3・坐禅をされてみていかがですか？
A3・長年坐禅に親しんでいます。捨てる訓練だと考えています。

Q4・今日まで参加されてのご感想は？
A4・坐禅会を休んでいると、生活が荒れると感じています。続ける事が大切だと思っています。

☆夏休み

寺スクールのご報告

去る八月九、十日。一泊二日の寺スクールが、無事に終了しました。

小学低学年～中学生の男女二十名が参加。今年三回



ぞうきんがけ～

目となり、募集開始からすぐに定員満了。キャンセル待ちが出る程の人気となっています。
雄禅会からも都合の合う時間帯でのお手伝い。子供たちと楽しく、厳しく、安全に過ごす事が出来ました。合掌

～年内の予定～

一、十一月二十九日(土) 十七時～摂心会。大雄寺にて(坐禅に興味のある方は、どなたでもご参加頂けます。)

二、十二月十三日(土) 毎年恒例となりました雄禅会

の忘年会&宿泊修行会。夜坐から始まり、お楽しみ

の多い修行会です。
三、十二月十四日(日) 年末大掃除。

詳細は、坐禅会にて…。



参禅いたします。